

本書を発行するにあたり

「下顎総義歯吸着印象法」とは、1999年に阿部二郎氏によって提唱された、従来は困難とされていた下顎総義歯の吸着を目的とした閉口機能印象を用いた手法である^{1~5)}。下顎総義歯も上顎と同様に義歯床縁全周囲を口腔粘膜の可動組織によって封鎖できれば吸着が可能であるとした。また、一般臨床医において吸着印象法を用いて製作した全部床義歯のQOLをOHIP-EDENT-J(口腔関連QOL多軸的機能評価)を用いて評価し、それに影響を及ぼす要因について調査した結果、吸着印象法によって製作された義歯が有用である可能性が示唆された報告もある⁶⁾。

今回、『What is Suction Denture?』、『This is Suction Denture!』、『“Questions!” about Suction Dentures.』に続く第4弾として、アドバンスである「より吸着を高める施術法」と、増え続けていると思われる「顕著な高度顎堤吸収症例の攻略法」に言及した。

本書を、無歯顎補綴難症例に取り組むすべての医療スタッフに捧げたい。

2024年4月
佐藤勝史